

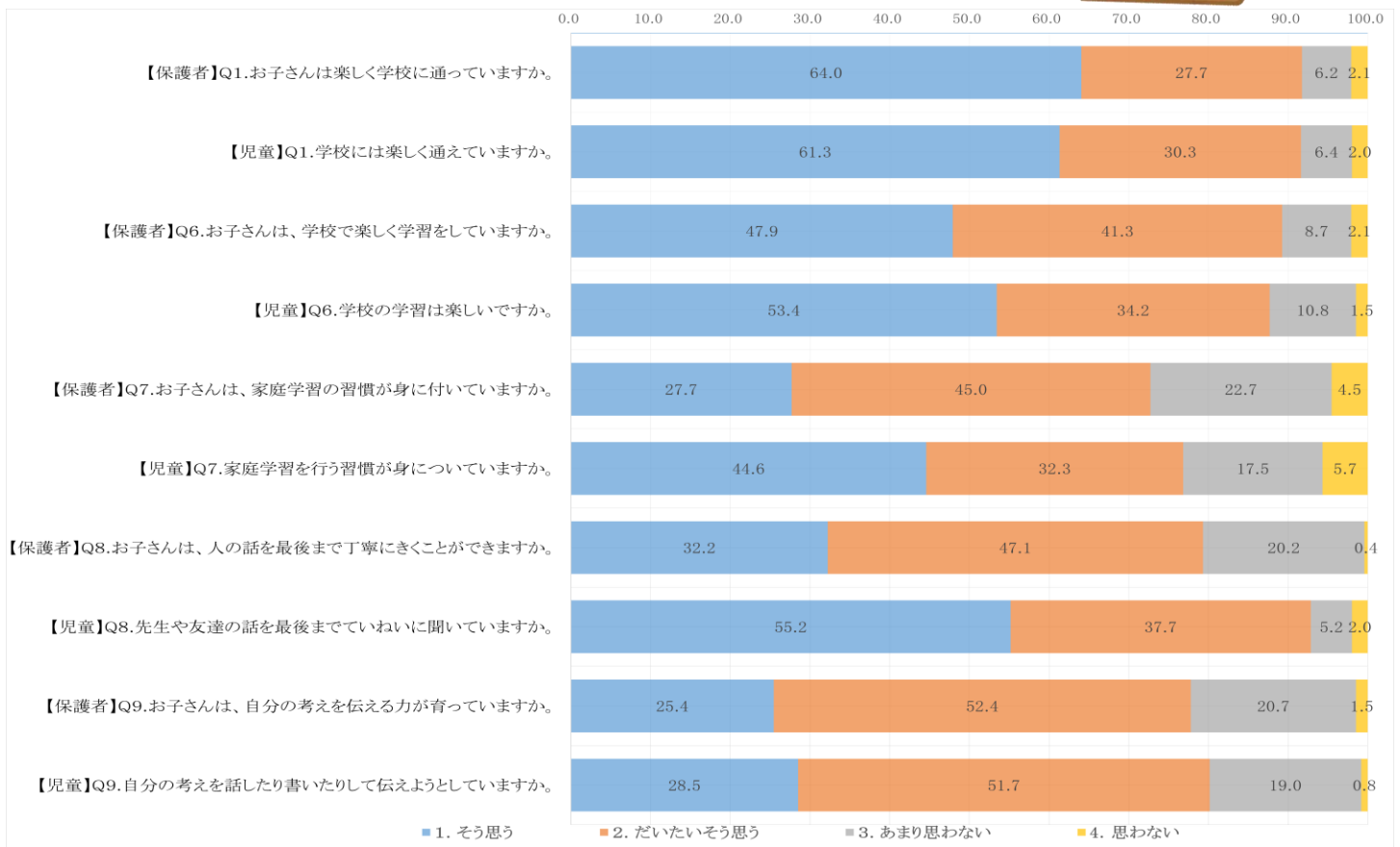
# 令和7年度轟町小学校【学校評価】結果・考察の報告

ご協力いただきました学校評価のアンケート結果が、下記のとおりまとまりましたので、その考察とともにお知らせいたします。来年度も、「誰一人取り残さない 一人一人を大切にする教育」を基本理念に、「自ら考え行動し未来に向かってたくましく生きる子供の育成」を学校教育目標に据え、「挨拶と温かい言葉が行き交う楽しい学校」を目指し、全教職員で一人一人の子供の能力を伸ばしていきたいと考えております。今後も、保護者の皆様の声に耳を傾け、さらに充実した教育活動が実践できるように努力して参りますので、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

## 学校教育目標 **自ら考え行動し 未来に向かって たくましく生きる子供の育成**

【知育】 進んで学ぶ子 ～自分で考え判断し主体的に活動する子～

学びの楽しさと確かな学力の定着を図る『わかる授業』 学びづくり を 目指します。



Q1「学校に楽しく通っている」の問いに対して、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせた肯定的回答は、保護者、児童ともに約 92%でした。これは昨年度(令和 6 年度)と同水準の高い数値であり、児童が安心感をもって登校できていることの表れとして、教職員一同大変心強く感じております。

一方で、「学びの楽しさ」を計る指標である Q6「学校で楽しく学習している」の肯定的回答は児童約 89%(昨年度と同様)となりました。学習支援ボランティアの導入など個別支援の充実を図ってまいりましたが、依然として約 1 割の児童が学習に対して否定的な回答をしている点は、真摯に受け止めるべき課題です。今後も「誰一人取り残さない教育」の理念のもと、少人数指導や専科授業、ICT の活用を通じた「わかる授業」の追求に努めてまいります。

Q9「自分の考えを伝えようとしている」については、保護者約 87%、児童約 83%と、昨年度の改善傾向を維持しています。研究教科である体育科や、日々の授業での ICT 活用、行事での役割分担などが自信につながっていると考えられます。

ICT(ギガタブ等)の活用については、Q15 で児童の約 95%が「上手にを使って学習できている」と回答しています。次年度(令和 8 年度)からは、ギガタブが新しく更新される予定です。より便利で機能的な端末になりますが、一方でその操作方法やルールを改めて覚え直す必要も出てきます。スムーズな移行と、より効果的な“ベストミックス”の活用法を模索し、主体的な学びのツールとして定着させてまいりたいと考えております。

家庭学習(Q7)については、肯定的な回答が保護者約 71%、児童約 79%となりました。今後も学年に応じた適切な分量と内容の提供に努めますので、引き続きご家庭との“協働”による学習習慣の定着にご協力をお願いいたします。







## 【保護者 自由記述より】

### 「学校として、指導の成果や良い点等」

#### ① 安心感のある登校指導と挨拶の励行

毎朝、先生方が昇降口や校門に立って子供たち一人ひとりに声をかけてくださる姿に、「安心して送り出せる」「子供も元気に挨拶ができています」といった感謝の声をいただきました。

#### ② 異学年交流(なかよし活動)による心の成長

「なかよし活動」などの縦割り班活動を通して、上級生が下級生を優しくリードし、下級生がそれに憧れを抱くといった、学年を超えた良好な関係性が育まれていることが評価されました。

#### ③ きめ細やかな学級経営と人間関係づくり

頻繁な席替えやグループ活動の工夫により、「特定の子だけでなく、いろいろな友達と話すきっかけができています」「クラスの雰囲気が明るい」など、孤立を防ぐ配慮への肯定的な意見が見られました。

#### ④ 読書習慣の定着と学習環境の充実

図書室の定期的な利用や、図書館指導員との連携により、「子供が進んで本を読むようになった」という成果や、ICT(ギガタブ)を活用した授業への取り組みに対する評価をいただきました。

#### ⑤ 「学校の見える化」への取り組み

今年度力を入れた学校だよりや学年だよりでの「写真の増量」について、「学校での様子がよく分かるようになった」「子供との会話のきっかけになる」と、その効果を実感する声をいただきました。

【学校より】:日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

皆様からいただいた「安心できる」「子供が成長した」というお言葉は、教職員にとって何よりの励みとなります。特に、毎朝の挨拶や異学年交流、そして情報発信の工夫など、学校として重点的に取り組んできたことが、子供たちの笑顔や保護者の皆様の安心感につながっていることを大変嬉しく思います。これからも、この「良さ」をさらに伸ばしつつ、課題については真摯に向き合い、「通って楽しい、預けて安心な学校」を目指して、教職員一同、教育活動に邁進してまいります。

また、多数の温かい評価をいただく一方で「良い点がない」とのご意見もいただきました。私たち教職員は、この事実を大変重く受け止めております。「良い点がない」という言葉の裏にあるのは、「学校が子供の成長を十分に支えきれていない」「期待していた教育環境が提供されていない」という保護者の皆様の諦めや失望であると考えます。現状の取り組みが、すべてのお子様やご家庭に届いているわけではないことを反省し、「子供を一人の人間として尊重する」という教育の原点に立ち返り、悩みや不安を抱える児童・保護者に寄り添えるよう、改善してまいります。

### 「学校へのご意見・ご要望等」

#### ① 学校や学級の様子をもっと詳しく知りたいです。

【学校より】:今年度は「見える化」を重点課題とし、お便り等への写真掲載を増やしてまいりました。アンケートでは約75%の方から肯定的評価をいただきましたが、依然として「もっと知りたい」という声もごございます。来年度は創立70周年の年でもありますので、学校を支えていただいている保護者の方のみならず地域社会にも学校が見え、感謝の意を伝えられるように工夫してまいります。

#### ② 来年度、ギガタブ(ICT 端末)が新しくなると聞きましたが、家庭でのルール等に不安があります。

【学校より】:次年度より現在のギガタブが新端末へ更新されます。動作がスムーズになる一方で、操作やルールの再確認が必要になります。導入時には丁寧なガイダンスを行い、学校での活用の徹底と、ご家庭での適切な使用(学習外の使用制限)について、改めて周知を図ってまいります。

特に質問が多いのが「ゲームはしてよいのか」というものです。ドリルパークやタイピング練習など、ゲーム感覚で楽しみながら学べるものも、学習には有用です。しかし、一部のプログラミング学習ソフトの中には、誰かが作成したゲームプログラムを使用できるものもあり、学習とは言えない使い方ができてしまいます。学校の基本姿勢は、「学習に使用する文房具」です。学習に使用していると言い切れない使い方は、今後も使用させないスタンスでおりますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

今回のアンケートでは、温かい励ましのお言葉を多数いただいた一方で、一部の記述において、厳しいご意見もいただきました。「学校の様子がわからない」というお声に対し、今年度は情報発信に力を入れてまいりましたが、真に求められているのは、単なる情報の量ではなく、「安心して子供を任せられる学校としての信頼」であることを改めて胸に刻みました。

いただいた厳しいご意見の一つひとつを「学校への期待の裏返し」と捉え、子供たちの笑顔のために、より良い学校を目指してまいります。

来年度の学校評価へのご協力もどうぞよろしくお願い申し上げます。